

令和4年度版

学習の手引



つるぎ町立貞光中学校

()年 ()組 ()番

氏名 ()

目 次

「阿波っ子学びのススメ10か条」	1
1 学校での勉強について	
(1) 授業の取り組み方	2
(2) テストの受け方	3
2 家庭での勉強について	
(1) 家庭学習のポイント	5
(2) 自主勉強ノート活用のポイント	7
(3) 教科別学習のポイント	
○国語	8
○数学	10
○社会	12
○理科	14
○英語	16

「阿波っ子学びのススメ10か条」

徳島県教育委員会

- 1 「なぜ」、「どうして」から生まれ育む 課題解決の力**
疑問をもち、解決するために自ら取り組むことが学びのスタートです。
- 2 書くことで 自分の考え 確かなものに**
文字にすることで、自分の考えが整理され、明らかなものになります。
- 3 考えを 広げ深める 話し合い**
みんなの意見を聞き、自分の考えを伝えることで、学び合いが生まれます。
- 4 準備を整え きまりを守って 授業に集中**
学習のきまりを守ると、落ち着いてしっかり学べる場になります。
- 5 今日の学びを 家庭で復習**
復習をすると、授業の内容を整理でき、明日の学びにつなげることができます。
- 6 目標をもち 自分を信じて 根気よく**
目標に向かいあきらめずに学び続ける経験が、自信につながります。
- 7 読書で育む 言葉と感性**
読書で出会う「わくわく」が、言葉を豊かにし、心を耕します。
- 8 互いにあいさつ 笑顔あふれる学校に**
あいさつは、ともに学ぶ仲間と心を通わせる第一歩です。
- 9 早寝 早起き 朝ごはん 規則正しい生活リズム**
規則正しい生活をするので、今日のやる気が生まれます。
- 10 家庭で話そう 友だち・学校・ふるさと徳島**
何気ない話題でも、家族との対話から伝え合う力が高まります。

みんなを
応援しているよ！



1 学校での勉強について

(1) 授業への取り組み方

みなさんの勉強は授業が基本です。毎時間の授業を大事にすることが、各教科等の基礎的・基本的な内容を定着させる近道であり、応用力をつけるための原点です。

① 「チャイム開始」を守ろう。

授業への態勢が整っていないと、スタート時点から慌ててしまいがちです。チャイム前に教科書やノート、筆記用具等、授業に必要な準備を整え着席しておき、チャイムと同時に、「さあ、勉強しよう！」という気持ちや姿勢に切り替えましょう。



② 準備物・提出物を忘れないようにしましょう。

やる気があっても道具がなければ満足な学習成果は得られません。チャイム前に授業準備をして、前時の内容を2～3分見直しておくだけで、その日の授業のスタートがスムーズになります。

また、宿題や自主勉強ノートは必ず提出しましょう。学習した内容を復習したり、これから習うことを予習したりすることで、知識を確実に身に付けましょう。



③ 授業に集中しましょう。

気をゆるめると何を勉強しているのか分からなくなってしまう。聞きもらしてしまった学習内容の上に、学習を積み重ねようとしても、理解することは難しいです。一言も聞きもらすまいという気持ちで授業に臨みましょう。



④ ノートを工夫しましょう。

分かったつもりでいても時間が経つと忘れてしまうことがあります。後で復習する時の参考にするためにも、授業内容をノートに分かりやすく書いておきましょう。また、板書にない事柄でも、先生の一言には大事な内容が含まれています。聞き逃さず書き留めておきましょう。



⑤ 発表や活動に積極的に参加しましょう。

意見を交換したり自分から進んで発表したりすることで、新たなことに気づいたり、より深く理解することができます。集中力を切らさないことにもつながります。



《 発表のしかた 》

○意見を言うとき

私（僕）は、……と思います。（考えます。）その理由は……

○意見が似ているとき

私（僕）も○○さんの意見に賛成です。その理由は……

○意見がちがうとき

私（僕）は○○さんの意見と違います。その理由は……

○付け足すとき

○○さんの意見に付け足します。……

○質問するとき・確かめるとき

○さんに尋ねます。なぜそうなるのですか。

○意見が変わったとき

私は、最初……という意見でしたが、今は……です。その理由は……

○これまでの意見をまとめるとき

みんなの意見をまとめると……



(2) テストの受け方

学習した内容の定着度や、自分の今後の課題をはっきり知る機会の1つに、テストがあります。中学校で行っているテストは、大きく分けて ①定期テスト、②実力テスト、③基礎学力テスト、④国・県の学力テストの4種類です。

① 定期テスト

各学期ごとにあるテストです。1・2学期にはそれぞれ中間テストと期末テスト、3学期には学年末テストが実施されます。中間テストは5教科、期末テスト・学年末テストは9教科で行います。それぞれの期間内に学習した内容がテスト範囲となつて、授業内容の定着度を振り返ることができます。

② 実力テスト

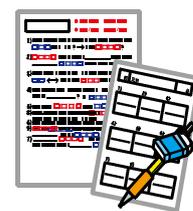
夏休み・冬休み・春休みなどの長期の休み明けに行われる課題テストや、中学校に入学してから現在までの全範囲から出題される実力テストがあります。継続した学習の積み重ねが問われる内容となっています。

③ 基礎学力テスト

徳島県内の中学校で一斉に行われるテストです。1・2年生は年1回、3年生は年3回実施します。中学校に入学してから現在までの全範囲から出題され、徳島県公立高校の入試にもっとも近いテストとなっています。

④ 国・県の学力テスト

国や県でつくったテストを全国や県内の全ての中学生を対象にして一斉に行うテストです。国が行うテストは「全国学力・学習状況調査」で、中学校3年生が対象です。徳島県が行うテストは「徳島県学カステップアップテスト」で、中学校1年生・2年生を対象にしています。



たくさんのテストがあり、「テストばかりでいやだなあ。」と思いがちです

が、前向きにとらえてみましょう。部活動でも、日頃の練習だけでなく、練習試合を数多くこなすと実力が身につき、総体などの大会本番で大いに力を発揮することができます。勉強も同じです。自分の夢に近づくためにも、入試本番で力を発揮できるよう、それぞれのテストで今の自分の学習内容の定着度や課題を確認し、学力向上につなげていきましょう。

《 すべてのテストに共通すること 》

テストは受けっぱなしにせず、必ず解き直すこと！

テスト前の準備も大切ですが、終わった後の方がもっと大切です。間違えた問題は、解説を聞いて(見て)必ず解き直しをしましょう。「テスト反省ノート」を作るのもよい方法です。分かっていたけれどミスをしてしまったのか、勉強不足で本当に分からなかったのか、なぜ間違えたのかを明確にし、同じ事を繰り返さないようにしましょう。(特に、3年生は見直しのために必ず保管しておきましょう)

《 テストを受けるときの留意点 》 …受検と同じ！

- ① 机の中はからっぽにし、机の横に何も吊らない。
- ② 机の上には、必要な物だけ置く。
 - ・鉛筆(シャープペンシル) 2～3本、消しゴム、定規、コンパス
- ③ チャイムが鳴る少し前には、静かに着席しておく。
- ④ 問題と解答用紙がそろっているか確認する。
- ⑤ 解答用紙にはまず最初に名前を必ず書く。
- ⑥ 先に問題全体を見渡し、取り組みやすい問題から解く。
- ⑦ 問題の重要な部分にアンダーラインを引く。
 - ・「記号で答えなさい。」「漢字で答えなさい。」など
- ⑧ 時間配分を考えながら解く。
 - ・1つの問題で悩みすぎないこと。
- ⑨ 解答用紙の文字はていねいに書き、答え以外は書かない。
 - ・はっきりと濃く、ていねいな文字を書くよう心がける。
- ⑩ 目線は、自分の机の上のテストか、前方にある時計だけに向ける。
 - ・きょろきょろしたり、人の答案を見たりしない。不正行為と疑われることはしない。
- ⑪ 時間いっぱい取り組む。
 - ・時間が余ったら、必ず書き間違いなどをしていないか、くり返し見直す。
 - ・粘り強く最後まで解き、答えを絞り出す。できるだけ空欄をうめる。
- ⑫ 正しい姿勢を保つ。
 - ・机に突っ伏したり、もたれたりしない。入試では、試験中に姿勢が悪い人や眠っている人にはチェックが入ります。
- ⑬ 終了のチャイムと同時に、速やかに鉛筆(シャープペンシル)を置く。



3つの「あ」の精神

- あせらず (落ち着いてよく読む)
- あきらめず (できるところがある) (問題のあちこちにヒントがある)
- あまくみず (見直そう)

2 家庭での勉強について

人は忘却する生き物であり、くり返し学習することで記憶が定着します。授業内容を確実に理解し定着させるために、家庭学習が大きな役割を果たします。

本校では、家庭で毎日学習する習慣を身につけ学習成果を上げるため、全学年共通の家庭学習課題として、「自主勉強ノート」と「生活記録」に取り組んでいます。「自主勉強ノート」では主に国・数・社・理・英の教科内容の定着を、「生活記録」では1日を反省し日記を書くことで表現力を高めることをねらいとしています。

学習を生活リズムの中に組み込むことで、家庭学習が習慣化されます。

次に挙げる3つのポイントを参考にして、自分に合った学習方法を見つけ、工夫しながら取り組みましょう。

(1) 家庭学習のポイント

① まずは勉強机に座ろう。

自分の勉強部屋や机があるのに、TVのある居間で宿題をしたりしていませんか。勉強する時の姿勢はどうですか。体が床に接する面積が狭いほど、よく頭に入ります。寝そべて勉強するのではなく、きちんと机に向かって座りましょう。また、机の上は整理整頓し、勉強をする環境を整えましょう。



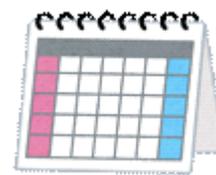
② 1週間の生活リズムをつかもう。

中学生になると、部活動や塾等で、毎日忙しい生活を送る人も多いはず。1週間の生活の流れを確認して、家庭学習に費やせる時間の見通しを立てましょう。



③ 学習計画を立てよう。

地道にこつこつと継続できる計画を立てて、家庭学習をしていきましょう。「今日は新出単語の意味と綴りを完璧にするぞ!」「明日はこのページの計算問題を全問正解できるよう頑張るぞ!」など、各教科のバランスや自分の得意・不得意科目も考慮した計画にしましょう。



④ 学習方法を工夫しよう。

本をただ見るだけ、読むだけ、写すだけでは学力は高まりません。「声に出して読む」「声に出して書く」などすると、リズムよく覚えられます。



⑤ まずは自力でやってみよう。

わからない箇所は、すぐ答えを見たり誰かに聞いたりしたくなるものです。しかし、楽をして得た知識は、忘れるのも早いものです。教科書やノート、辞書、資料集などを使って、可能な限り自分で調べましょう。また、わからなかったところ、間違えたところは、必ず解説を読んで、「なぜそうなるのか」を理解しておきましょう。



⑥ 宿題・ワークはその日のうちに取り組もう。

宿題やワークは、学習内容の再確認ができると同時に、自分の理解度を知る手段になります。さらに、反復学習をすることによって基礎・基本が定着し、応用力をつける原動力にもなります。必ずその日のうちに宿題やワークを済ませ、翌朝、学校に来てからすることのないようにしましょう。



⑦ 「ながら勉強」はやめよう。

テレビを見ながら、音楽を聴きながら、スマホをさわりながらといった勉強では集中力が散漫になるため、効果は上がりません。静かに勉強に集中できる環境を整えましょう。



⑧ 「予習」「授業」「復習」の黄金サイクルを確立しよう。

予習・復習をすることで、授業内容がよくわかり、理解度がかなり上がります。

【予習】 次の授業で学習するところのページを読んだり、ノートに写したり、問題を解いたりしておきましょう。

【授業】 集中して授業に取り組み、大切なポイントを聞きのがさないようにしましょう。

【復習】 授業で習った内容をもう一度、自主勉強ノートにまとめたり、教科書やワークの問題を解いたりしてみましょう。「わかったつもり」ではなく、「一人でもできる」まで練習しましょう。



(2) 自主勉強ノート活用のポイント

① 日付・学習時間を記入しよう。

毎回記入することで、どれくらいの時間をかけたか、どれくらいの学習ができるのかが分かってきます。習慣化して時間を上手に使った学習をしましょう。



② 1週間単位で5教科全てに取り組もう。

時間のかからない楽な勉強に逃げたくなる時もありますが、自分の苦手な教科も必ず取り入れてこそ家庭学習です。例えば曜日によって教科を変え、1週間で全教科の学習をするのも1つの方法です。

③ 1日1ページ以上毎日取り組もう。

勉強しない日をつくらないように、必ず毎日取り組みましょう。家庭学習時間の目安は、平日で1日平均2時間以上です。

④ 力のつく勉強をしよう。

ただ書き写すだけでは、学習成果に進展は見られません。授業で解いた問題やテスト問題を再確認したり、授業内容をまとめ直したり、また問題集をどんどん解いていくノートにしましょう。黙々と取り組むよりも時には声に出しながら、目・耳・口・手を同時に働かせる学習は、効果大です。

⑤ 内容を深化・発展させよう。

毎回同じことの繰り返し学習では、定着はしてもそれ以上の成果は得られません。少しずつ内容を変えたり、増やしたりして、着実に前進していく学習を心がけましょう。

(3) 教科別学習のポイント …… 次ページ以降にまとめています。

